



誰かの幸せを、自分の喜びに。

聖隷クリストファー中学校

[中高一貫コース]

模試解説ゼミ

& 入試説明会

小6対象

10/19

(土)

AM

お申込み
特設ページ

学校紹介
動画



オープン模試の解法のポイントを、本校教員が詳しく解説します。
入試と面接の対策についても説明します。
本校に出願をお考えの方はぜひご参加ください。

<日時>

10月19日(土) 9:00~12:00

<受付>

8:40~8:55

<対象>

小学6年生

- ・模試を受検していない方も参加可能です。
- ・未履修範囲もありますが5年生も参加できます。

<内容>

1 時間目 入試・面接説明 (50分)

2 時間目 国語解説授業 (45分)

3 時間目 算数解説授業 (45分)

- ・1 時間目は保護者様・お子様ともご参加ください。
- ・2・3 時間目は保護者様も授業を見学していただくか、待合室でお待ちください。個別相談も対応できます。

<開催場所>

本校

<持ち物>

オープン模試の問題冊子(受検した方)

筆記用具・水筒

上靴は不要です。

受講費用は無料です。

☆参加者特典☆

2020年度入試問題進呈!



Success Stories

聖隷クリストファー 中学生の 成功体験ストーリー

宮本 那央也（内申・高校1年生）

伝わる喜びが私を成長させてくれた。

中学校の学習発表会では、全校生徒を前にして英語でスピーチ。浜松市の中学生未来会議では、観光による浜松の活性化についてプレゼンテーション。人前で話すことが苦手だった小学6年生の私が聞いたら、ウソでしょう？と思うような変わりようです。きっかけは中学1年の文化祭。担当したブースで、ノアの箱舟の説明をしたことです。緊張しながらも一生懸命に話すと、自然と言葉が次々に出てくる初めての体験をしました。伝えたいことが伝わる喜びを知り、話すことが楽しいと思えるようになったのです。こうした経験ができたのは、誰にでも役割や発言の機会がある少人数制という環境が大きかったように思います。今でも、地元の公立中学に進んでいたら僕はどうなっていたんだろう、と考えることがあります。きっと話下手なままだったでしょう。中学から続けている茶道部に加えて、高校からは放送部にも所属。様々な経験を積んで、伝える技術を磨きたいです。



新野 詢琴（中学3年生）

毎日を楽しむのは、自分自身。

苦手だった数学が、得意になったのは中学2年になってからのこと。「やれば伸びるし、やらなければ差が開くだけ」。そんな先生のひと言が胸に刺さり、毎日の課題にプラスして自主勉強をするようになりました。やればやるほど計算のスピードが上がり、同じ時間でこなせる問題の量も増え、想像以上に成績が伸びました。やれば良い結果が出ることが分かると他の教科の勉強も楽しくなり、時間をかけるだけでなく、自分なりに工夫をするようになりました。すると入学当時は中の下くらいだった成績が、中学2年の学年末テストでは学年3位に！勉強ができるようになると学業以外にも良い変化が表れて、1年生の時は勉強の言い訳にしていた少林寺拳法の部活動も、全国大会で決勝に進めるまでになりました。また、多くの人と関わりたいと思うようになり、挨拶もしっかりできるようになりました。勉強が楽しくなった。ただそれだけで私は変わり、毎日が楽しくなりました。



丹野 姫花（卒業生・立命館大学文学部）

私にもできた！を積み重ねて今がある。

小学校では、自分から前に出ることはなく、やりたいことがあっても言い出せないもどかしさを感じていました。そんな私に向上心を持ってほしいと、親が薦めてくれたのが聖隷クリストファー中学校です。新しい体験をするチャンスや発表の機会が多く、いつも先生方に見守られている安心感もあったので、生徒会や部活動、学外活動などに積極的に挑戦することができました。また私の個性や特長を知った上で、推薦してくれた活動もありました。くじけそうになる度に先生方の励ましが力になったことを、今も感謝しています。あれもできた！これもできる！数々の小さな成功体験を積み重ねる内に、自信を持てるようになり、自然に自分を出せるようになっていました。大学では、TOEICや簿記、教員資格にも挑戦しようと考えています。教員として聖隷に戻り、自分がしてもらったことを、未来の子どもたちにもしてあげたい。将来の選択肢の一つとして、そんな夢も持っています。

僕らの未来は、
伸びしろだらけだ。



誰かの幸せを、自分の喜びに。
聖隷クリストファー中学校

[中高一貫コース]